

早産低出生体重児における脂肪細胞の数と大きさの変化が
将来の疾病リスクに与える影響

臨床研究への参加者募集

将来の肥満のリスクは
乳幼児期に決まる！

正期産児と早産低出生体重児で脂肪組織の発達を比較する検討です

対象：当院で下記疾患の根治術を施行予定の乳幼児（6か月～5歳）

①外鼠径ヘルニア ②停留精巣 ③臍ヘルニア

※ 緊急手術など一部の症例は除く 2016年10月～エントリー開始

ご協力いただける方には、手術のために小児科病棟に入院した際に、①問診や身体測定、②血液および脂肪組織の提供、をお願いします。

※ 血液および脂肪組織は、手術時に新たな操作や本人への負担を与えず行うことなく採取することができます。

少額ではございますが、協力者には金券を進呈いたします。
調査の趣旨をご理解いただき、医学の発展のため
ご協力いただければ幸いです。

詳細は下記までお問い合わせください。

担当：昭和大学小児科 中野有也

E-Mail: dohadshowa@gmail.com

電話：03-3784-8565（小児科医局）

